

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	1、教育(教室不足) 環境の改善 2、衛生(トイレ不足) 環境の改善 3、地域の待機児童生徒の救済 4、児童達の教育環境(3年生から6年生の2部制)の改善 5、建物維持管理のための地域コミュニティの組織化
(2) 事業の必要性(背景)	フィリピン共和国のパンパンガ州アンヘレス市は米軍クラーク空軍基地がフィリピン政府に返還されて、その跡地にフィリピン政府が工業団地を造成し現在、日系企業を含む複数の企業が操業している。通勤に近い市内に移住する人が増えていることや首都からの北高速道路の開通に伴いマニラ首都圏までが通勤圏になったことなどの影響で人口が急激に増えている地域である。 現在、ピネダーグティエレス小学校(就学前児童約90名を含め児童数約700名、教員9名)は、待機児童約30名の入学希望があるが、既に定員を大幅に上回っており、受入れ困難であるために断わっている。 小学校の校舎は、古い校舎と約10年ほど前に立てた2階建て校舎からなっている。古い平屋の校舎は、屋根が低く、教室の天井はなく、屋根はトタンが張ってあるだけである。そのため激し雨の時は、雨がトタンに跳ね返る音で、先生の話し声が聞こえず授業が中断して授業はできない。また、壁もトタンで出来ているため教室内は暑く昼間は高温になり1教室70人以上の児童が入り7機の扇風機がフル稼働している。また、学校には8教室しかないがクラスは12あり、そのために2部制を強いられている。トイレ環境は、1教室内に1つあるが、男女兼用のため女子はトイレの利用を我慢するあまり体調不良を訴えることもある。 このように、学校環境は粗悪な状況にあることを踏まえ、学校長、区長、PTA、地域住民と意見交換を重ね、児童たちの学習環境の改善や待機児童の救済などについて聞き取り調査をおこない、早急に校舎の増築等を必要があるとの結論に達し、校舎の隣接地の空き地に新校舎を建設することでPTA、小学校、市当局も含めた会議で合意に至った(学校の敷地面積が狭いことで2階建て4教室の確認。)新校舎の建設後は、学校側の他、PTAを中心に地域コミュニティの組織を強化し、財政を含めた維持管理にあたることを確認した。

(3) 事業内容	(ア) 鉄筋 2 階建て 4 教室の校舎を建設する。校舎の設計はフィリピン教育省から提出された設計基準を遵守して施工管理を徹底する。備品（内訳：黒板、先生の机と椅子 4、児童の机と椅子付を 180（1 教室 45 組 45 名）を設置する。 新トイレ 4 基（内訳：男子児童用 2 基、女子児童用 2 基を教室の外ある階段側に 4 基）を新設する。 (イ) 施設の維持・管理、そのための地域コミュニティの組織化を指導すべく、ワークショップを 11 回（内容：行政への要望方法や一般住民からの資金集め、修理点検のための定期的な学校訪問の仕方等）開催する。
(4) 持続発展性	校舎建設の完成後は、ピネダグティエレス小学校、PTA を含めた地域コミュニティが学校施設を適切に維持・管理をするための指標を策定するとともに、学校管理者である学校長と愛知レスキューとの間で、工事着工前に維持・管理に関する書簡を締結する。 なお、施設維持・管理のための資金確保については、小学校建設地のアンヘレス市長から文書で約束されている。 (ア) 施設の維持・管理のマニュアルを整備の上、管理表を用いて 1 ヶ月に 1 度学校長等が施設の内外を点検し、施設に問題がないか、教室内やトイレ内の清掃が毎日行われているか、等をチェックする。 (イ) 上記（ア）に基づき、施設の補修の必要性がある場合には、学校側と PTA を含めた地域コミュニティが行う。 なお、愛知レスキューが維持・管理状況を確認するため、学校運営協議会に年 2 回程度は報告させると共に、適宜現地を訪問して必要なサポートを行う。
(5) 期待される成果と成果を測る指標	(ア) 教室を 4 教室増築することにより、3 年生から 6 年生までは 2 部制から 1 部制にすることができ、授業時間が 4 時間から 6 時間に増え、学力の向上が期待される。また、待機児童約 30 名を受け入れることが可能となり、これらの児童が学校で勉強できるようになる。 (イ) 現在、1 教室あたりの児童数の目処としている 50 名を大幅に上回る 70 名を超えるクラスもあるが、教室の増設により 1 教室あたり多くとも 50 数名に留まり、すし詰め状態が緩和され、現状より窮屈な思いをせずに勉学に励むことができる。 (ウ) 既存のトイレは、教室に 1 ヶ所しかなく、しかも男女兼用で、常にポリバケツに水を入れてトイレの使用後は、柄杓で水をすくい、トイレ内に流す構造になっているが、新トイレは給水設備を有しており、新校舎の児童は衛生的なトイレを使用できる。また、新トイレは男女別のトイレなので、不都合な状況が解消される。